

議会だより

かみやま



第51号

2022.2.15

12月定例会



令和4年神山町成人式（1月2日撮影）

- 12月定例会…………… 2頁
- 町長の行政等の報告…………… 3頁
- 令和3年度一般会計補正予算…………… 4頁
- 12月定例会一般質問…………… 5～10頁

12月定例会は、令和3年12月9日から17日までの9日間の会期で開催した。
令和3年度補正予算のほか、条例の一部改正を含む12件を審議し可決した。

議会からは、常任委員会委員及び議会運営委員会委員の改選を提案し選任され、
また、常任委員会及び議会運営委員会委員長・副委員長の互選結果を報告した。

- 令和3年度神山町一般会計補正予算（第4号）
- 令和3年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和3年度神山町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 令和3年度神山町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和3年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 神山町国民健康保険税条例の一部改正
- 神山町学校給食センター設置条例の一部改正
- 神山町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 神山町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
- 神山町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
- 神山町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 令和3年度神山町一般会計補正予算（第5号）

■意見書

1件の要望があり採択し意見書を提出した。

- 日本政府に「核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める」意見書

提出先

内閣総理大臣、外務大臣

15日

一般質問

新居 榮二 議員、志甫 守 議員、白土 義信 議員、平岡 晴喜 議員、森 一博 議員、高橋 義英 議員

町長の行政等の報告

激甚化する自然災害へ向けて

日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定を締結

災害時のみならず高齢者の見守り確保、観光振興、産業振興、地方創生といった多岐にわたる内容。

日本青果包装株式会社との調印

大規模災害時の避難所で使用する、段ボールベッドや間仕切り等の優先的な供給。

職員の防災士資格

研修・試験を行った。全ての職員が防災意識を高める意味においても防災士の資格取得については非常に重要。

備蓄品

役場・支所、各公民館等に充実配置を今後も増強していく。

行政視察

11月24日に内閣府の特命大臣、デジタル田園都市国家構想担当若宮大臣が神山町の進め方等について視察し、関係者との意見交換を行った。

11月29日には内閣府の地方創生推進室事務局の方々3名が、視察

をして、意見交換を行っている。視察者についてもだんだんと増えてきつつあると期待されるので、気を緩めることなくコロナ対策と地方創生を両輪で進めたい。

令和2年度の国勢調査の結果

4,647人という神山町の人口であった。社会増が2年連続となったことから、今後2060年で1,145人にならぬよう、3,200人を目標にしつかりと計画を進めていく。

新型コロナウイルスワクチン接種

世界ではオミクロン株が拡がりつつある中で、日本にも感染者が出ている。神山町では医療従事者等へ11月19日に接種券を発送し、12月下旬から町内の医療機関で接種を実施していく予定である。その後は、順次接種券の発送をし、町民の皆様へ接種をしていただく予定としている。

鳥インフルエンザの状況

11月10日に秋田県、17日には兵

庫県、12月3日には熊本県でも発症し、全国で5件の確認。徳島県では、鳥インフルエンザ徳島アラートをステージ3に引き上げて対応している。神山町においても、状況を注視し、県と緊密に連絡を取りながら、対応にあたる。

令和4年度当初予算について

歳入

地方税などが脆弱な団体にとって今後さらに厳しい状況になる予測から、引き続き経費の削減と歳入確保に取り組み、優先順位の高い事業を見極め、限られた財源の効率的な利用を、これまで以上に創意工夫に努める。

歳出

地方創生関連事業や子育て支援、高齢者福祉、老朽化した施設の更新などに多額の経費が必要となる。計画的な予算計上を行い、事業の効率化を図り、より健全な財政運営に取り組み。

11月24日に当初予算事務担当者会議を開催。予算編成方針を明らかにし、令和4年度当初予算の編成作業に取り組んでいる。

一般会計の補正予算

総務費

企業版ふるさと納税の増加が見込まれるため、まちひとしごと創生事業基金へ積立金の費用を計上。

民生費

子育て世帯への臨時特別給付金事業の費用を計上。

衛生費

3回目のコロナワクチン接種のための費用を計上。

農林水産費

鳥獣害被害のための駆除数の増加による駆除報償金の費用を計上。

土木費

県から採択された、県単急傾斜地崩壊対策事業にかかる費用を計上。

災害復旧費

8月豪雨による災害復旧事業費で公共土木施設及び農地農業用施設災害の費用を計上。



令和3年度 一般会計補正予算



一般会計 (第4号) 補正額 1億2,164万円
 追加補正 (第5号) 補正額 751万円 (子育て世帯への臨時特別給付金)
 予算合計 1億2,915万円 (66億677万円)

歳出	総務費	まち・ひと・しごと創生推進事業基金	4,395万円
	民生費	子育て世帯への臨時特別給付金費	3,900万円
	衛生費	予防接種等委託料	341万円
	農林水産業費	有害鳥獣駆除報償金	700万円
	商工費	神山温泉工事費	132万円
	土木費	県単急傾斜地崩壊対策工事	606万円
	消防費	名西消防組合負担金	44万円
	教育費	スクールバス修繕料	90万円
		備品購入費 (非接触体温計・サーマルカメラ等) 各小中学校	91万円
	災害復旧費	現年農地農業用施設災害復旧工事 (2ヶ所)	813万円
		現年農地農業用施設単独災害復旧工事 (4ヶ所)	
		現年公共土木施設単独災害復旧工事 (町道7ヶ所)	

令和3年度特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険特別会計(第2号)	483万円	7億9,839万円
簡易水道事業特別会計(第2号)	0万円	2億6,045万円
介護保険特別会計(第2号)	121万円	10億4,702万円
後期高齢者医療特別会計(第2号)	△347万円	1億2,187万円

任期満了に伴い、常任委員会委員及び議会運営委員が改選し選任されました。

総務文教厚生常任委員会	委員長	白土義信	委員	森本孝夫
	副委員長	志甫 守	委員	高橋義英
	委員	新居榮二	委員	平岡晴喜
	委員	河野雅俊	委員	森 一博
産業建設常任委員会	委員長	平岡晴喜	委員	森本孝夫
	副委員長	森 一博	委員	志甫 守
	委員	新居榮二	委員	高橋義英
	委員	河野雅俊	委員	白土義信
議会運営委員会	委員長	白土義信	委員	高橋義英
	副委員長	森 一博	委員	平岡晴喜

役員の任期は2年としている。

一般質問



新居榮二 議員

● 質問 1 ● 神山町の建設工事の 残土処理について

神山中学校建設工事の建設残土で国道438号線が土砂で汚れていた。近隣住民より指摘を受けたので徳島県に連絡をし、立会いのもと確認をしたところ土砂が捨てられていた。処理の場所は他に無かったのか。また、町は中学校の建設に伴う残土処理の計画をしていなかったのか。

答弁 教育次長

5月に東野間の民有地に運んだ。河川との境界が確定している法的に問題の無い場所であった。河川の増水で土砂が流出す

る恐れがあると町が判断し、別の場所へ移動した。

再問

河川砂防課との協議はどのような経過と内容だったのか。

答弁 教育長

県の担当管理者と町長をはじめ役場の担当者立ち会いの下で解決した。

● 質問 2 ● まのこうと高等専門学校について

設置認可申請書が提出され無事受理されたとの話であるが、高専設立準備委員会と文部科学省との協議で特に町に関係のある事案や認可に関わる重大な事案については設立準備財団から情報もらえるのか。

答弁 総務課長

認可については認可申請を10月に提出し令和4年8月の認可に向けて国の審査が行われている状況である。議会への報告については昨年度および本年度の9月12月の全員協議会で状況の報告をしている。町民に対する

報告は令和3年の3月9月12月に実施しており高専側から今後とも都度都度住民説明会は進めていくと聞いている。高専設立準備財団の認可にかかる情報については情報提供できることについては町にも報告していただけると聞いている。

再問

令和4年8月に認可されなければ、町はどのような対応をとるつもりなのか。すべて白紙に戻しふるさと納税の寄附金は返還すべきと思うがどのようにお考えか。

答弁 総務課長

現在、設立準備財団は認可に向けて着々と事業を進めている。認可されなかった場合については準備財団の意向を確認しながら、認可を進めないという意見なら返還等の手続きを進めていく。寄附していただき補助金としたものについては、補助金の返還。また寄附者へ意向を伺い寄附の返還を進めていくようになる。

再々問

来年8月に認可されない場合寄附金を返還し町は高専設立にかかわらないと明言すべきと思うが、どのように考えているのか。

答弁 町長

「つなぐプロジェクト」等で、現在可能性が見えてきたという状況の中でこの計画にかかわらないという考えをとるつもりはない。むしろ逆に認可されるまで設立準備財団には頑張ってもらいたいと考えるし、ともに連携しながら認可に向けて歩むことが今の神山町の状況からすると、私として取る道であると思う。

再々問

高専設立準備委員会と交わした契約書で寄附金等はどうのように書かれているのか、議員や町民が確認できるように公開すべきではないか。

答弁 総務課長

ふるさと納税を原資にした補助金は、補助金要綱を町のホームページで確認して頂きたい。

一般質問



志甫 守 議員

●質問1● 道の駅・神山温泉について

感染者数が31日も0が続いているが、オミクロン株という新しい変異株の感染の恐れがある。それによって、客足がもどりにつつある道の駅や神山温泉、町内の商店や飲食店などの経済が苦しくなる恐れがあるが、これから町内経済がよくなるような新しい施策の考えはあるのか。

答弁 町長

コロナ禍における道の駅あるいは、神山温泉の経営状況は、コロナ以前の6割程度の売り上げ状況というところである。現在、徳島県応援割も発行されているが、利用のお客さんは思ったほどではないという状況だ。

これは、たぶん第6波、オミクロン株というのが人々の頭をよぎったなかでの行動と思っている。

神山温泉については、利用者が少ない状況もあって、今が大規模改修のチャンスと捉えて、ホテル側についても大きな修繕をかけている。周辺環境を整えるという意味においても、対岸のふれあい公園の東屋の屋根が経年劣化しているので現在改修中である。

これを契機にソフト面、従業員の接客態度や質の高いおもてなしができるように社員教育も非常に重要になってくると思っている。周辺にある創造の森等ももう少し魅力アップが必要と思っている。

民間のさまざまな飲食やタクシー関係等や農業分野ではスダチ生産者などは非常に苦勞をされている。

飲食店やタクシー会社等はコロナ対応給付金をさせていただいている。

スダチ農家対応は、昨年も実施したスダチを送った場合の送料を無料にしている。

再問

鳴門市はJRの駅の前に、また、美波町日和佐の道の駅には、足湯がある。旅の疲れを少しでもいやしてもらうため無料で提供していた。

神山町にも県内一の素晴らしい神山温泉があり、焼山寺や町内商店、飲食店、道の駅もある。こうした利点を考え、足湯などの考えはないか。

答弁 町長

鳴門や日和佐といったところには、足湯の設置がされている。また、全国的にも数年前からある種のブームであり、これも一考と思う。しかし、神山町の場合、25度以上の温泉法に適合する源泉が豊富にないため、足湯の維持管理、コスト、特に一番大事な衛生面での管理ということが難しいので検討結果、できなかった理由は、衛生面とコストということになる。

現在のところは考えてはない。

●質問2●

町内の交通安全について

今年、神山町における交通事

故は、9月末で発生件数が8件のうち死者2名、傷者6名となっている。年末年始に向かって県外県内から多くの人が訪れるが、道に慣れない人のために、交通事故現場には看板などを立てることはできないか。

答弁 総務課長

町内の交通事故の状況について令和3年11月末で、発生件数は9件で、うち死者2名、傷者7名となっている。

交通安全及び危険箇所への対応については、名西郡交通安全協会、神山地区交通安全保護者の会等、町内団体の皆様にご協力いただき、交通安全の啓発キャンペーンや地区の道路の点検等を実施している。

また、国道県道の危険箇所について、交通安全協会の方々にご協力いただき、危険箇所の点検をおこない、年1回、神山町交通安全対策会議を開催し、県へ危険箇所の修繕要望の活動も実施している。

今後も交通安全協会等の皆様方にご協力いただきながら、対応したい。

一般質問



白土義信 議員

●質問1● 森林環境譲与税(ESN)

平成31年4月より施行された森林環境譲与税、どのような算定で町へ国から歳入として入ってきているのか。また、金額については。

答弁 産業観光課長

人工林の面積と町の人口とを客観的に按分して算出されている。令和元年度は1,809万3,000円、2年度は3,844万8,000円、3年度は見込みで3,877万9,000円、4年度、5年度は、約5,000万円程度、6年度からは約6,100万円程度の見込みとなっている。

再問

森林環境譲与税をどのように活用しているのか。また、土砂

災害防止や飲料水確保のための森林整備等の計画、森林境界明確化事業の進捗状況は。

答弁 産業観光課長

森林境界明確化事業、林業就業者の育成への支援、森林意向調査の実施、専門職員の雇用、林地台帳システム関連事業、私有林の整備事業、木造公共施設、林道整備事業などを実施している。

森林境界明確化事業については、3,547haと町の総面積の約20%森林面積の約23%実施している。

今後の計画は、上分地区を今年度も含め3、4年で完了する予定である。その後下分、神領と順に進めていきたいと考えている。

●質問2● 林道(ESN)

町内の林道整備の状況について、現在どのようになっているのか。今後の計画や延長、工事予算はどのくらいか。また、森林整備の林道だけではなく観光道としての活用はどのようなのか。

答弁 建設課長

森林率86%を占める本町では、地域の生活道路としての役割を担い、重要な路線について

は、一定期間が過ぎたのち、町道としてその全部もしくは一部が編入された路線もある。

3年度の林道整備については、上分、大中尾と、奥屋敷工区の2工区計画延長6,600mに対して7.2%の進捗率、全体工事予算は、約16億6,000万円となっている。

見込まれる森林整備は奥屋敷線区域内の森林面積及び備蓄は、針葉樹319ha、197,2m³、広葉樹が、60ha、9,471m³、森林整備は、17ha、程度の間伐を見込んでいます。

林道の活用は、山あいに暮らす住民のライフラインとしての役割になっている。また、観光地や森林レクリエーションのアクセス道として利用されている。

林道ができることにより、国・県道が多発するゲリラ豪雨や台風により交通規制となった場合、迂回路として機能するよう整備を進めていく。

●質問3● 建設、農業、林業等に おける人材不足について

町内の各業界では、技術者の人手不足が深刻化している。技

術の継承等を考え一線を退かれているが、高い技術力や知識を持っている元気な方々の力を借りられるような、町が主導となる教育の場所をつくってはと思うが町の考えは。

答弁 産業観光課長

農業や林業での人手不足は深刻で町としても危惧をしている。農業の場合、里山みらいで研修生を受け入れ、スタヂ栽培について研修している。今後研修制度を安定的に継続していくため地域おこし協力隊制度などを利用して指導者の育成も検討していきたい。

またフードハブ・プロジェクトでも、研修生を受け入れ野菜栽培などの研修を行っている。林業の場合は、森林組合が神山町で新たに職員を雇用する場合、育成費用の補助を行っている。林業アカデミーの卒業生は2年間、緑の雇用制度活用者は3年間補助をしている。今後、補助を継続して林業の担い手育成に努めていきたい。また、地域おこし協力隊制度の利用も視野に入れて林業者の雇用につなげたい。

一般質問



平岡晴喜 議員

●質問1● マイナンバーカードの普及状況について

デジタル庁が発足し、マイナンバーカードの普及が推し進められている。将来的に、運転免許証や健康保険証、複数の病院の情報を一括で管理する等、進められていると聞いている。

神山町での交付率は9月時点で県24市町村の中で最下位の26・09%となっている。

個人情報流出するなどマイナ要素を心配する声も聞くが、高齢化率の高い本町こそ、この恩恵を受けられるよう、進めて欲しい。現在の交付率は、交付率向上対策はどのように進めるのか。また、現在どのような事に使用出来るのか。

答弁 住民課長

令和3年11月末現在の交付率は30・75%である。徳島県全体の交付率は38・91%となっている。

向上対策については、日曜日の申請受付業務は毎月2回実施している。11月末までの交付者は310人である。7月末時点と比較すると1.6ポイント差を縮めている。11月末までの申請者は、343人、うち日曜日の申請者は217名で63・3%となっている。また取得された方には、神山町商工会商品券3,000円分交付している。発送者は250人である。

答弁 副町長

現在利用出来るものは、

- ① 身分証明書
 - ② 税の申告 eTAX
 - ③ 証明書類のコンビニ交付・住民票など
 - ④ 健康保険証として利用
- ③・④については神山町ではまだ対応していない。

●質問2●

生活応援の入浴券、タクシー券について

コロナウイルスの影響の大きかった神山温泉や運輸業を支援すべく応援券、チケットが交付されたが、前記、券の利用者からは大変喜ばれている。温泉では、「入浴券が届いたので入浴に来た」「お湯が大変良い」「タクシーチケットは大変重宝している」との声をきく、一方遠くで利用出来ない、同居家族の車があるため、利用しない等の声を聞く、入浴券、タクシーチケットの現在までの利用率はどのようになっているか。また利用しない出来ない方への対応や利用促進、改善点は。

答弁 健康福祉課長

入浴券は、2,431世帯に、タクシー券は2,099人に発送し、利用率は、それぞれ16・5%、16・9%となっている。コロナウイルス感染症の影響で減少したふれあい及び健康づくりの推進、衛生の向上、外出を控えることによる閉じこもり、

フレイル等による、健康被害を予防し、外出するきっかけづくりを目的としている。
利用できない方への対応、代替等は考えていないが、入浴券とタクシー券を併用して、活用をお願いしたい。

利用期限が令和4年2月28日までとなっている。広報かみやま、防災無線などを活用して、利用を啓発していく。



一般質問



森 一博 議員

●質問1● 高齢者施策について

高齢者を取巻く現状や施策について。

- ・神山町内にはどの位の独居世帯数があるのか。高齢者のみ世帯数は。
- ・独居高齢者もしくは高齢者のみ世帯で、ご家庭で急な体の異変や事故などで、どこにも連絡出来なかった事例は、どの位あったのか。
- ・今現在、緊急通報装置整備事業が展開されているが、利用者はどのくらい。また、緊急通報装置整備事業以外での安否確認はどのようにされているのか。

答弁 健康福祉課長

ひとり暮らし世帯は、令和3年4月1日現在、町内全体で1,039世帯。高齢者の一人暮らし世帯は750世帯、高齢者のみ世帯は517世帯で、全体の52%である。新聞等が何日も溜まっている事で見守りネットワーク協力員が異変に気づき、地域包括支援センターへ連絡があったのは、平成29年度から17件。その中で死亡が確認されたのは3件、残りの14件は状況把握を行ったところ、入院や外泊等無事を確認。緊急通報装置整備事業は、現在2名の方が利用。緊急通報装置以外の安否確認は、見守りネットワークや、民生委員のひとり暮らし高齢者の訪問、介護認定を受けている方は、介護サービス事業者・介護支援専門員・地域包括支援センターの訪問で、安否確認となっている。

再問

・緊急通報装置整備事業の利用者が2名というのは少ない。何か利用に至らない原因があるのか。

・見守りネットワークとはどのくらいの会員数で、どのように活動しているのか。

・現状を踏まえての今後の事業展開の予定、構想は。

答弁 健康福祉課長

緊急通報装置整備事業は、毎年5月の広報紙掲載、ケアマネージャーに啓発などしているが、屋内利用で、ペンダントも50m以内と制約がある。屋内外どこでも連絡が取れる携帯電話を使用する方が増えたこと、利用者の緊急時に利用者宅へ出向き、安否確認などの援助活動を行う近所の協力員2名のなり手が高齢化して少ないこと。協力員に迷惑をかけられないと遠慮をしてしまうなどで利用者が増えない。見守りネットワークは平成30年6月に設置され、構成団体は消費者協会、老人クラブ身体障害者会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、商工会、郵便局、農協、生協、徳島新聞専売所、県消費生活センター、警察署、町各課等16団体。活動内容は自らに支障のない緩やかな見守りをし、地域包

括支援センターが相談を受け、迅速に訪問し対応する。また、集まった情報を構成団体が共有することによって、家族へ早期の状況連絡、早期治療や、消費者被害を未然に防ぐことが出来ている。今後の展開としては、携帯電話が普及し緊急通報装置整備事業の利用者も減少傾向にあることを踏まえ、今後の事業運営について検討していく。見守りネットワークも、たくさんの方の目を必要とし、情報をとりにとめ、適切な場所に繋ぐことが必要なため、情報提供の協力員を増やしていく。

携帯電話の活用に期待をされているようだが、未だ電波の良くない地域もあり、すべての対象者が携帯電話を常に持って動かれているわけでもない。現行の施策参加者より多くの方が、簡単に参加し、本人自らがアクションを起こして健在かどうかを発信しなくても良い手段、方法の施策が必要なのではないでしょうか。

一般質問



高橋義英 議員

●質問1● ヤングケアラーについて

近年、未成年者が家族の介護にあたるケースはめずらしいものではなくなってきた。国は認知度を高める取り組みを進めている。その際注意点として、ヤングケアラーである事が悪いことだと受け止められないようにすることをあげている。神山町では、少子高齢化率も高い上に、共働きしている家庭も多い。神山町の子供たちに訪ねても、知られていないのが現状。

●答弁● 教育長

家庭内のデリケートな問題であることから表面化しにくい構造、また福祉・介護・医療・学校関係機関におけるヤン

グケアラーに関する研修等は十分でなく、地方自治体での現状把握も不十分で、社会的認知度も低いといった現状と課題がある。神山町の教育環境は、健康福祉課とも常に連携を取りながら情報交換、情報収集ができる環境にあり、現在、町内で、家事や家族の世話、介護、などをおこなっている子どもはいないと認識している。今後国や県からの指導を受けながら、ヤングケアラーの認知度を高めるとともに、子どもの権利が奪われることなく、適切な養育を受け、健やかな成長と教育の機会が確保されるよう取り組んでいきたいと考えている。

●質問2● 公共料金等のキャッシュレス決済について

神山町では現在、公共料金、各種証明書代などは、口座自動引き落とし、振り込みのほかは、現金しか取り扱っていない。その際、現金払いや振り込み以外に、キャッシュレス決済ができるようにならないか。

●答弁● 総務課長

国において、「デジタルガバメ

ント実行計画」により、令和7年度を目標に基幹系システムの標準化・共通化を推進することとなっている。国の状況を見据えながら、電子決済サービスの導入について検討していきたい。

●質問3● 空き校舎の遊具

空き校舎の遊具・照明施設などの整備等は現在どのような状況か。

●答弁● 教育次長

遊具の整備については、優先順位の高い、現在使用している校舎にある遊具について腐食が進んでいるもので補修、設置後年数が経過しているもので、安全基準を満たしていないものは、撤去し、新設するように考えている。

ナイター照明については、広野小学校の設備が老朽化しているもので、優先的に改修工事をしたい。廃校のナイター設備は、地域での活動が必要であり、計画的に改修できるように検討している。

●再問●

空き校舎の活用は今までも、各議員から質問がされてい

る。維持するだけでも経費がかかり、何かすれば経費のかかる大変な問題。神山東中学校が閉校され5年が過ぎ、当時は地元の方と、空き校舎の活用方法など意見交換などがされていたが、現在は検討しているのか。

●答弁● 総務課長

空き校舎の活用については、旧広野小学校の状況につきましては、現在「ほんのひろば」が月6回程度活用している。直近では4Kまつりの会場としても、利用がある。

今後の活用については、状況把握をしながら今後も検討していきたいと思う。いろいろな施設等提案はあるかと思うが、安全管理体制やニーズ状況等の把握もしながら、今後検討していく。

スケートボード、ボルダリング、eスポーツは近年人気が非常に高いと感じている。たくさんの方の可能性があるなかで、公募での利用者を持つだけではなく、さまざまな施策を柔軟に考えていただき、魅力ある神山町にしていただきたいと思います。

特集!! アンケート調査

議会広報調査特別委員会では、立志を迎えて自分の将来の目標を定め、志を立てる神山中学校2年生の皆さんに、今後2~3年のうちに神山が大きく変貌しようとしている中、神山の良さや魅力・未来、又、神山に創られようとする高専について、そして後4年経てば選挙権を持つ子供達に、議会や町はどのように見え思っているのか、アンケートをお願いいたしました。結果は次のとおりです。

●あなたにとって神山の良さ、好きなのところはどこですか。

- ・水がきれいで、自然が豊か 17人
- ・地域の人たちの仲が良い、優しい、明るい 10人
- ・おいしいごはん屋さんがある
- ・心がおちつく
- ・排気ガスが少ない
- ・空気がおいしい

●町外の方が神山に来たら、どのようなことを勧めますか。

- ・神山の自然、雨乞いの滝、さくら 16人
- ・おいしい食べ物屋さん 神山の郷土料理 7人
- ・町のイベント参加、町民とのコミュニケーション、交流 5人
- ・星がきれいにみえること
- ・違う町に観光に行くこと

●神山の魅力を高めるためにどのようなことをしていけばいいと思いますか。

- ・神山でイベントを沢山して町外にPR 動画配信、看板、ポスターなどで神山を知ってもらう 3人
- ・自然を汚さない、ごみ拾い 4人
- ・自然を生かした神山ならではの施設 2人
- ・自然を大切にすること
- ・働ける場所をつくる
- ・バスツアー
- ・人が集まる場所を作る
- ・観光場所
- ・ボランティアに参加

●神山町に高専ができようとしています、選択肢の一つとしてどのような期待をしますか。

- ・人が増える 5人
- ・進学の実績が増える
- ・かみやまで住む人が増えてほしい
- ・自分らしさを伸ばせるような高専
- ・神山について多くの人に知ってもらえること
- ・いろいろな人が神山に集まること
- ・いろいろな人の話が聞けること
- ・とても楽しみ
- ・みんなが入学できる高専

●神山の未来のために何をしますか。

- ・ごみを拾い自然を汚さない、きれいな神山をのこす 8人
- ・神山のよさをPRして県外の人に伝える、観光に来てほしい 2人
- ・自分が神山町にとって一番いいことをする
- ・神山が開催するイベントに積極的に参加する
- ・神山に住み何かをする 2人
- ・ボランティア
- ・勉強して就職

●何か神山町議会、神山町に聞きたいことがあればお書きください。

- ・なし 22人

結果、子供たちは、神山の自然が好きなのだと感じられました。また、イベントなどにも積極的に参加し、地域の人や神山へ移り住んだ方達とも交流をし、神山の新しい店もいち早く気づき、立ち寄りしていることもわかりました。町外・観光の方には、そのような店などの情報も伝え、四季折々の良さも知っており、大変感心しました。中には、神山の郷土料理なども答えてくれました。

そして今回、一番子供たちが気にしている事がゴミ（美観）問題であり、これから神山で暮らす、住み続ける中で少しでも自然豊かで、ゴミなどが落ちていない環境を、直ちに考えなければと感じました。

あと、高専に関する問いに対しては内容がわからない感じで、関心はあるが高専進学を考えている人は少ないと感じました。

最後に、今回一番答えてほしい質問の回答がゼロでした。これは私たち議員に大きな宿題をだされたと思います。中学生は人生でも大変大切な時期ですので、コロナが収束すれば対話の場をもうけていければと思います。

アンケートにご協力いただきました神山中学校2年生の皆さん、並びに関係者の皆様ありがとうございました。

令和3年9月定例会で可決した 神山まるごと高専設立準備財団との協定

目的

神山町が所有する財産を神山まるごと高専設立準備財団が設立する学校法人に貸与・譲渡することについて、適正かつ円滑に遂行するため。

譲渡するもの（建物及び備品）

○現行の神山中学校

校舎、体育館、技術室、備品（大型教育備品：第1理科室 教師・生徒用机）

貸与するもの（敷地）

○現神山中学校敷地（神領字西上角）

・貸与期間 行政財産の用途廃止及び神山中学校の移転完了～令和35年3月31日まで

○大埜地敷地（敷地造成施工場所）

・貸与期間 造成完了後～令和35年3月31日まで

※譲渡物件・貸与物件それぞれに協定契約を結びます。

契約条件（抜粋）

学校設立を行わなくなった場合

○譲渡物件に関して、

- ・改修工事前→現状のまま変換
- ・着工後であれば双方で協議する。

○貸与物件に関して、

- ・中学校敷地（西上角）→現状にして返還
- ・大埜地敷地→造成工事完了後の状態にして返還し、土地取得・造成に関する費用を支払うものとする。

令和3年 名西消防組合議会

第2回定例議会は12月1日神山町役場議場で開催され、議案3件と追加日程を、同意・可決・承認した。

【議案第5号】

監査委員の選任 森本孝夫（同意）

【議案第6号】

令和2年度名西消防組合一般会計

歳入総額	4億6,911万円	歳入歳出決算の認定
歳出総額	4億5,646万円	
歳入歳出差引額	1,264万円	

【議案第7号】

令和3年度名西消防組合

一般会計補正予算（第1号）	
補正予算額	1,246万円を減額
予算総額	5億7,267万円とした。

【追加日程】

正副議長辞職による選挙を行い、議長に

森一博、副議長に谷雅史（石井町議）が当選

（指名推薦）

【町内行政視察について】

議員研修 [12月10日]



神山中学校新校舎建設工事現場での工事進捗状況について関係者から説明をうけた。工事は予定どおり進んでおり、進捗率は60%とのことだった。

1階部分に入らせてもらったが、校長室、技術室など、各部屋の形状がわかるくらいになっていた。廊下の腰壁は、神山町産のヒノキが使われていてあたたかさを感じた。これから校舎内のいろいろなところで町産材が使われるというのでとても楽しみな。

令和4年4月に新校舎へ入る中学生が、夢と希望をもって新しい歴史をつくってもらえたらと思う。

次に、城西高校神山校の学生寮「あゆハウス」の新しい共用リビング棟の寄井西住宅D棟が完成したとのこと、視察した。

5名の寮生からはじまった「あゆハウス」も徐々に寮生が増え、そのために寄井西D棟住宅を新しく建築した。

台所は以前は2、3人しか入れず、全員の食事を作るには狭かった。新しいキッチンにはスペースも広くみんな、楽しく作れるそうだ。

リビングは寮生全員がいつしよに座れる広さになっていた。リビングにあったホワイトボードを見ても寮生たちが楽しく明るくすごしている様子がわかった。

(志甫 守)

令和2年度 神山中学校建設工事 進捗状況

神山中学校建設工事は1月現在、内部・外部仕上工事と外構工事を行っています。

内部に関しては、1階が天井・壁が仕上り、部屋内の床も一部仕上がっています。2階は壁の塗装工事、設備機器取付けが行われ、3階は天井ボード張り、家具工事、設備工事が行われています。2月上旬には内部も大部分が仕上る予定です。

外部に関しては、外部足場の解体が行われ、各面の建物外観が現れています。外構工事は校舎棟廻り、グラウンド側と全体的に工事が進んでいます。

工事は令和4年3月完成に向け、予定通り順調に進んでいます。

(令和4年1月中旬現在)

現 状



令和3年
10月



神山の風景



令和3年12月、本年もイルミネーションの季節が参りました。

12月12日に鬼籠野の輝の会（ひかりのかい）メンバーが設営を行い、平成10年スタート以来今回で24回目となっております。この間、若干の若手が加わったものの開始当初からのメンバーが多く未だ現役で頑張っておられます。

皆様ご存じのとおり、内容と規模は町内でも有数で、長きにわたって行われていることにより町内の風物詩として定着しております。これからも末永くこの季節にこの輝（ひかり）を点し続けていただきたいと願っております。

（森 一博）



議会の動き

2月

- 15日 議会だよりかみやま発行
 - 16日 勝名地区町村議会議員研修会
 - 17日 例月出納検査
 - 中旬 議会活性化特別委員会
 - 21日・ 財政援助団体及び
24日 指定管理団体の監査
 - 22日 議会運営委員会
 - 28日 阿北環境整備組合議会
- ### 3月
- 1日 勝名地区町村議会議長会定期総会
徳島県町村議会議長会定期総会
 - 上旬、 神山町議会3月定例会
中旬

表紙写真説明

令和4年神山町成人式が1月2日に神山町農村環境改善センターで行われました。

神山町の成人該当者は22人で、参加は19人でした。久しぶりの帰郷と再会にいい顔をしていました。希望と自信に満ち溢れ、堂々と二十歳の誓いや、謝辞を述べていました。

（高橋義英）

編集後記

冬のひだまりがことのほか暖かく感じられる寒冷の中、令和3年12月定例会がおこなわれ、補正予算など13議案が可決されました。

12月20日、神山中学校で開催された立志式では、中学生が将来の希望や夢に向かって、力強く発言していました。

1月2日に開催された成人式では、19名の方が出席されました。皆さんは、久しぶりに会った同級生とあちらこちらで話が弾んでいました。新成人代表の方が、「神山町にはいろいろな人たちが集まり、チャレンジしている。私たちも夢や希望に向かってチャレンジします。」と力強く語っていました。中学生や新成人の言葉を聞いて、神山町の未来は明るいと感じました。

今年に入って新型コロナウイルス・オミクロン株が猛威を振るい、全国的にも感染爆発となっております。

今後、一日でも早く元の生活ができ、安心して暮らせるように、今はしっかりと感染対策をすすめていきたいと思います。

（志甫 守）

公職選挙法により、議員（候補者）候補者になることとする者は町民に対しての寄附や御歓びをすることは禁止されています。

議員一同